

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

テトラクロロエチレンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

5 B 4 6 4 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」(1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： テトラクロロエチレン
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24時間後に試験液の全量を交換，密閉容器)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 48時間
- 5) 試験濃度 (設定値)： 対照区，助剤対照区，0.63，0.82，1.1，1.4 および 1.8 mg/L
(公比 1.3，助剤濃度一定：9.0mg/L，HCO-30および2-メキエタノールを使用)
- 6) 試験液量： 125 mL
- 7) 連数： 4 容器／濃度区
- 8) 供試生物数： 20頭／濃度区 (1 連に付き 5 頭で 1 濃度区20頭)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明／8時間暗
- 11) 被験物質の分析： G C 法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

暴露開始時および 24 時間後に測定した被験物質の全実測濃度が、設定値の±20%以内であったので、各影響濃度の算出には設定値を採用した。

2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 1.3 mg/L (95%信頼限界 : 1.3~1.4 mg/L)

最大無作用濃度 (NOECi) : 0.82 mg/L

100%阻害最低濃度 : 1.8 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 1.3 mg/L (95%信頼限界 : 1.2~1.3 mg/L)

最大無作用濃度 (NOECi) : 0.82 mg/L

100%阻害最低濃度 : 1.8 mg/L